

品質保証と研究開発のための 金属組織観察実習

～金属組織観察の勘所やコツを学ぼう！～

組織を見れば金属がわかる

- ・機械構造用合金鋼(SCM435調質材)
- ・球状黒鉛鋳鉄(FCD400応力除去焼鈍材)
- ・ステンレス鋼(SUS304固溶化熱処理材など)
- ・合金工具鋼(SKD11低温焼戻し材など)
- ・アルミニウム合金(A6063T6材など)

の試料調整
と金属組織観察方法

こんな方におすすめ

- ・材料や製品の品質保証担当部署に配属されたばかりで経験の浅い方
- ・これから金属組織観察に携わる方
- ・試料の研磨やエッチングが今一つ上手くない方

概要

金属材料の力学特性は、その内部組織と密接に関係しています。光学顕微鏡による金属組織観察は、材料内部の組織状態を把握するための基本的かつ重要な手法であり、破断面観察、硬さ測定と並んで、製品や材料の不具合原因を調査する故障解析をはじめとする各種評価業務に欠かせない基盤となる技術です。

本研修は、品質保証や研究開発などの現場で材料評価に携わる、経験の浅い方から実務経験を有する担当者までを対象に、金属組織観察の基礎から、実務で役立つ判断ポイントや観察結果の読み解き方までを体系的に学びます。組織の違いが材料特性にどのように影響するのかを理解し、現場で求められる「観察力」と「解釈力」を身につけることで、材料評価や不具合解析などの実務に活用できる実践的なスキルを習得できます。

講義と実習を通じて、1日で試料調整と金属組織観察手法の習得を目指します。

詳細・申込はHPをご覧ください

<https://www.kistec.jp/learn/metallography/>



カリキュラム

9:00 ~ 10:00	金属組織観察試料の作り方（講義）
10:00 ~ 12:00	研磨、金属組織現出等の実習-1
13:00 ~ 17:00	研磨、金属組織現出等の実習-2

コース

実習材に応じて次の4コースをご用意しています。目的やご希望に合わせてお選びください。

コース1 鉄鋼・鋳鉄系

機械構造用合金鋼(SCM435調質材)および球状黒鉛鋳鉄(FCD400応力除去焼鈍材)

コース2 ステンレス鋼系

SUS304およびSUS316L固溶化材

コース3 工具鋼系

SKD11低温焼戻し材、SKD61焼入れ焼戻し材およびSKH51焼入れ焼戻し材から2種類選択

コース4 アルミニウム合金系

A6061T6材、AC8A水冷材、AC8A炉冷材から2種類選択

日程、会場

日程	コース	会場	日程	コース	会場
10月8日(木)	コース1 第1回	海老名	12月10日(木)	コース1 第2回	溝の口
10月22日(木)	コース2 第1回	海老名	12月24日(木)	コース2 第2回	溝の口
11月12日(木)	コース3 第1回	海老名	2027年		
11月26日(木)	コース4	海老名	1月14日(木)	コース3 第2回	海老名
			1月28日(木)	コース1 第3回	海老名
			2月11日(木)	コース2 第3回	海老名

申込要綱

会 場	海老名 KISTEC 海老名本部(海老名市下今泉705-1) 溝の口 KISTEC 溝の口支所(川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク東棟1・2階)
定 員	2名(各回1企業1名様までとさせていただきます)
研修費用	28,000円(税込)
重 要	・申込締切後、受講決定者には受講料請求書等の必要書類を郵送いたします ・やむを得ない事情により、日程・内容等の変更や中止をする場合があります ・保証書に必要事項をご記入のうえ、参加日当日お持ちください

お問合せ先

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC) 〒243-0435 海老名市下今泉705-1
人材育成部 産業人材研修グループ TEL 046-236-1500 E-mail sm_sangyoujinzai@kistec.jp